Syllabus ID	Syl122593		
Subject ID	Sub-122007110		
更新履歴	新履歴 20120229 新規		
授業科目名	英語 English		
担当教員名	廣田友子 (HIROTA Tomoko)		
対象クラス	全学科 5 年生		
単 位 数	2 履修単位		
必修/選択	選択		
開講 時期	通年		
授 業 区 分	語学		
授 業 形態	講義		
実 施 場 所	選択制教室3・4		

授業の概要(本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)

多岐にわたる話題を題材にした速読用の教材を使用する。 読みやすい英文を利用し、語彙力、文法力、 読解力の向上を目指す。読解練習を中心とするが、英検、TOEIC演習問題等の諸活動も適宜取り入れ 理解段階からさらに習熟・発展段階まで高めることを目指す。

準備学習(この授業を受講するときに前提となる知識)

高校卒業レベル程度の基本的英語知識

	Weight	目標	説明		
		Α	工学倫理の自覚と多面的考察力の養成		
		В	社会要請に応えられる工学基礎学力の養成		
学習・教育目標		С	工学専門知識の創造的活用能力の養成		
		D	国際的な受信・発信能力の養成		
		E	産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑚を継続できる能力の養成		
学習・教育目標	1.該当了	する学習	・教育目標についての達成度検査を、年度末の目標達成度試験をもって行う。		
一十日 秋月口惊	2.プログ	ブラム教科	斗目の修得と、目標達成度試験の合格をもって当該する学習・教育目標の達成とする。		

の達成度検査 2.プログラム教科目の修得と、目標達成度試験の合格をもって当該する学習・教育目標の達成とする。 3.目標達成度試験の実施要領は別に定める。

授業目標

- 1 限られた時間内で素早く文章の流れをつかみ英文の内容を読み取れる力を養う。
- 2 英文読解に必要な語彙力、文法力の向上に努める。

授業計画(プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)

回	メインテーマ	サ ブ テ ー マ	参観
第1回	前期オリエンテーション	前期オリエンテーション、 授業概要、目標、スケジュール、評価方法とその基準などの説明	
第2回	Unit 1	Billionaire 英文法演習問題	
第3回	Unit 2	Andre Agassi 英文法演習問題	
第4回		Axel 英語総合問題演習	
第5回	Unit 3	Video Jockeys 英文法演習問題	
第6回	Unit 4	Coffee Culture 英文法演習問題	
第7回		Axel 英語総合問題演習	
第8回	前期中間試験		×
第9回	Unit 5	Around the World 英文法演習問題	
第 10 回	Unit 6	The Puffier Fish 英文法演習問題	
第 11 回		Axel 英語総合問題演習	
第 12 回	Unit 7	Getting Married 英文法演習問題	
第13回	Unit 8	Say it with Flowers 英文法演習問題	
第14回		Axel 英語総合問題演習	
第 15 回	Unit 9	Bollywood 英文法演習問題	
第 16 回	Unit 10	The Nobel Prize 英文法演習問題	
第17回	前期末試験		×

第 18 回	後期オリエンテーション	Unit 11 A funny cure	英文法演習問題	
第 19 回	Unit 12	Palm Reading	英文法演習問題	
第 20 回		Axel 英語総合問題演習		
第 21 回	Unit 13	Amazing Memory	英文法演習問題	
第 22 回	Unit 14	Incredible Dogs	英文法演習問題	
第 23 回		Axel 英語総合問題演習		
第 24 回	Unit 15	Diamonds	英文法演習問題	
第 25 回	後期中間試験			×
第 26 回	Unit 16	Space Explores	英文法演習問題	
第 27 回		Axel 英語総合問題演習		
第 28 回	Unit 17	Happy New Year!	英文法演習問題	
第 29 回	Unit 18	Text messaging	英文法演習問題	
第 30 回		Axel 英語総合問題演習		
第 31 回	Unit 19	Urban Legends	英文法演習問題	
第 32 回	Unit 20	Extreme Sports	英文法演習問題	
第 33 回		Axel 英語総合問題演習		
第 34 回	学年末試験			×

課題

授業中に指示する

評価方法と基準

評価方法

定期試験及び小テストは、テキスト・配布プリントから主に出題するが、テキストとレベルが同程度の 初見の英文からも若干出題する。

又、定期試験の結果だけではなく授業中の活動・発表、課題提出、授業態度・学習意欲も評価に加える。

評価基準

定期試験や授業内の小テスト・・・70%~80%

平常点(授業態度、学習意欲、提出物)・・・20~30%

_		(.				
教	科	書	等	Intermediate Faster Reading Revised Edition 著者 Casey Malarcher 他 成美堂出版 英和辞典		
				その他 (適宜プリント等を配布する)		
先	修	科	目	総合英語A・B、英語W、英語C		
関連	重サ	イト	- の	http://nact-na.numazu-ct.ac.jp/ANET2/ ALC Net Academy 2		
U]	R	L	ALC IVET ACCOUNTS		
授美	単ア	ンク		見やすい板書を心がける。		
 	^ 0	の対	応	クラスの状況(学習意欲、能力水準等)に応じて進度や授業内容を適宜変更する場合が ある。		
/#±				1. 試験や課題レポート等は、JABEE 、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検		
		_	=	査に使用することがあります。		
備			考	2. 授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教		
I						